

2019年度第5回理事会議事録

1. 日時：2020年2月22日（土） 13:00～16:45
2. 場所：NTC東館2階 会議室B、C
3. 出席者：

理事：総数27名中 松丸喜一郎会長 田村恒彦副会長 袴田登喜造副会長兼専務理事
岸高清常務理事 溝部政司常務理事 永谷喜一郎常務理事 大野明敏常務理事
鍵山博常務理事 横山幸子常務理事 三木容子常務理事 平井宏治理事
佐橋朋木理事 藤井彌理事 源洋子理事 成山悟史理事 寺澤良悦理事
田中僚一郎理事 高橋信吾理事 田中辰美理事 麻植芳靖理事 柳田勝理事
田口亜希理事 松島愛理事 上之園正一理事 横沢聡理事 尾崎和郎理事
山下晃弘理事

以上出席27名

監事：総数2名中 石崎和男 香西俊輔 以上出席2名

4. 議事録署名人：松丸会長、田村副会長、袴田副会長、石崎監事、香西監事
5. 袴田専務が13時00分に理事27名出席で成立するとの宣言をした。
6. 議長：代表理事 松丸喜一郎
7. 松丸会長挨拶

新型コロナウイルス感染の懸念もある中ご出席いただきありがとうございます。不要不急のイベントの開催自粛が求められる中で協会も、大会中止など必要な判断をして行きます。本日もよろしくご審議をお願いします。とあいさつした。

<審議事項>

1. 2020年度収支予算(案)について

袴田専務より資料1のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、2020年度収支予算案について資料1のとおり承認した。

2. 2020年度事業計画(案)について

袴田専務より資料2のとおり、さらに佐橋競技企画部会長より別添資料1のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、2020年度事業計画案について資料2および別添資料1のとおり承認した。

3. 倫理規程、通報相談窓口処理規程、同窓口利用要領の改訂について

横山常務より資料4について、様々な程度の訴えが増える傾向がある中で、場合によっては加盟団体で処理してもらうのが適切と考えられる案件も処理できる道をひとつ開いておこうとの趣旨の改訂である旨の説明があった。さらに岸高事務局長より資料4-1の15ページの倫理規程の運用に関する細則の第1、②の後段の案文に記載の「理事会に報告し」の箇所は削除するとの説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、倫理規程、通報相談窓口処理規程、同窓口利用要領の改訂について資料4-1は細則の「理事会に報告し」の削除を含め、さらに資料4-2、4-3のとおり承認した。

4. 鹿児島国体中央派遣役員案について

鍵山国体委員長より資料5のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、鹿児島国体中央派遣役員案について資料5のとおり承認した。

5. 三重国体リハーサル中央派遣役員案について

鍵山国体委員長より資料6のとおり説明があった。松丸会長から五輪でのNTO育成した若手役員の登用について質問があり、鍵山委員長が、本年は五輪パラ開催年のため年内の出役頻度からして無理なところもあり、来年度からの登用になるとの説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、三重国体リハーサル大会の中央派遣役員案について資料6のとおり承認した。

6. 東京2020五輪メダル獲得に係る選手、コーチへの報奨金について

田村選手強化委員長より資料7のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、東京2020五輪メダル獲得に係る選手、コーチへの報奨金について資料7のとおり承認した。

8. 2020年度育成アスリート指定基準及び海外派遣要綱案について

三木ジュニア育成委員長資料8のとおり説明があった。これについて大野常務より大会入賞に必要な基準点を記載するなど目標を明確にしてほしいと発言があった。また佐橋理事より国内合宿を年に何回するとか明らかにできないか、との発言があった。これに対し、三木委員長より要綱ではなく予算が決まったところで計画案のような形で公表することを検討したいと答えた。その他に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、2020年度育成アスリート指定基準及び海外派遣要綱案について資料8のとおり承認した。

8. 25mピストル競技の屋内射場での記録について

溝部競技運営委員長より資料9のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、25mピストル競技の屋内射場での記録について資料9のとおり屋内日本記録として記録を残すことを承認した。

9. 競技記録公認規程別表2の一部改訂について

溝部競技運営委員長より資料9のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、25mピストル競技の屋内射場での記録について資料9のとおり承認した。

10. GTR国内規程ビーム種目ルール一部改訂について

溝部競技運営委員長より資料11のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、GTR国内規程ビーム種目ルールについて準備時間の記載を準備及び試射時間に改訂することで資料11のとおり承認した。

11. 射撃場の公認について

平井競技運営副委員長より資料12のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、佐賀県エアライフル射撃場の公認について資料12のとおり承認した。

12. 公認審判員の承認について

平井競技運営副委員長より資料13のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、3名の地方公認審判員、2名の本部公認審判員について資料1

3のとおり承認した。

13. NRA J 認定コーチ制度要綱の改訂について

成山育成部会長資料より資料14-1、14-2のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、NRA J 認定コーチ制度要綱の改訂について資料14-1および14-2のとおり承認した。

14. 新型コロナウイルス対応大会中止等について

1) ジュニアビーム大会（4月・岐阜）について

鷲見参事より、自治体から中止勧告ありとの報告があり、松丸会長が中止することを提案し、全員異議無く中止を決めた。

2) NT選考会（3月7日～NTC）について

田村選手強化委員長から3月7日から開催予定のNT選考会はすでに中止を決定したとの報告があった。

3) 全日本10m（3月13日～石巻）について

松丸議長が各理事の意見を求め、全日本10m大会は中止とすることを決定した。

4) 全国高校選抜（3月26日～和歌山）について

麻植理事より全国高校選抜は実施について高校部会が他の選抜競技の状況なども見て日ラと連携をとって今後判断すると発言があった。

松丸議長が各理事に、今後の他の日ラ主催大会の開催可否は、会長、専務、競技運営委員長に判断一任を求め、全員異議無く了承した。

<報告事項>

1. 委員会報告

1) 総務委員会

・規程集第1巻改訂発行について

岸高事務局長より資料15のとおり改訂作業を実施し今春に改訂発行することを報告した。

・ライフルイズビューティフル

門間広報部会長より宣伝大使となったライフリング4のメンバーですが、これまでのライブなどでライフル射撃競技の説明を大変しっかりやってくれたが、5月6日のラストライブで終了するとの報告があった。

2) 推薦委員会報告

・12月、1月推薦委員会審査結果について

大野推薦委員長より資料16のとおり報告があった。その中でP49の1月分AP所持推薦で不備保留1は0とし不承認を1とする訂正があった。

3) 国体委員会報告

・国体種目の変更案について

鍵山国体委員長より資料17のとおりARPRを廃止してAR立射30発の男女少年種目に変え、50mの男子膝射20発を廃止して50mの男子立射40発に変える案で委員会としても承認したので、今後競技運営委員会とルール変更等の調整を経て、JSPOと協議を進めたいとの報告があった。

・国体施設基準の見直しについて

鍵山国体委員長より資料18、19のとおり、国体開催県から50m射場の射座数削減などを検討するよう求められており、委員会として継続検討していくことになった。また委員会において、国体50m射座基準を26から14に、CPで18から14に減らす案での大会運営を検討した説明があり、検討継続するとの報告があった。藤井理事より50m種目で予選本選をしない件については理解が得られるのかとの質問があり、鍵山委員長より現状でも本選が無い点についてなんとか理解してもらっているとの回答があった。さらに溝部常務より射座削減で予算節約ができるので予選本選を実施できるようにする案もまだ残っているとの発言があった。

4) 選手強化委員会ジュニア育成委員会報告

・ワールドカップニューデリー大会派遣について

田村選手強化委員長より資料20のとおり報告があった。

・選手強化委員会ピストル部会委員交代について

田村選手強化委員長より資料21のとおり警視庁の拳銃監督が島田氏から作本氏に異動があったことにともない、ピストル部会の選手強化委員を交代させる旨報告があった。

5) 東京2020パラ準備運営本部

・2020東京大会準備状況について

袴田パラ準備運営本部長より、明日審判講習会後の午後にNTOのミーティングを実施しますが、3月のNT選考会での研修は中止になり、あとは4月のテストマッチでの出役による研修ということになる、との報告があった。

2. その他

1) 射撃スポーツのおかれている現状と対策について

別添資料2のとおり、藤井理事より射撃がコモンウェルス大会の種目から除外された事、2016年にIOCとISSFが五輪での射撃種目について議論した内容など、五輪種目から外れる可能性を示す国際的ないくつかの傾向について報告があった。成山理事より、日ラ会員の年齢構成や会員登録数の推移と15年後に一般会員の平均年齢が60歳を超えるとの見通しや、他競技との登録競技者比率の差などについて報告があった。松丸会長より、この説明をしたのは、スポーツ庁からガバナンスコードで中長期計画を策定せよとされており、我々の基盤を改めて確認しようということと、国際的には五輪種目に止まるために思い切った対応策を提案するぐらいの気概を持って望まなければならないということを皆さんと共有したい趣旨だ。若手を中心に今後の対応策を検討していくことを、ご了解いただきたいと思います、との補足報告があった。

2) 東京2020五輪協会分チケットの有償配分について

岸高事務局長より資料23に関して、日ラに配分内定のあったJOCファミリーチケット約400枚の日ラ内での公平な有償譲渡のしかたについての案について、ご意見を伺いたいとの趣旨でご説明する。との発言があった。なおこの配分のしかたについてJOCに問題無いことを確認したうえで最終的な方法を次回理事会で報告したい。との説明が岸高局長よりあった。

3) スポーツ射撃の法規制に対する要望解決の進捗状況について

岸高事務局長より資料24のとおり報告があった。

4) インテグリティ教育の加盟団体での実施準備について

大野常務理事より、インテグリティ教育の加盟団体での実施について、日ラからのやり方の講師への伝達などが不十分な状態で、12月28日に実施についてホームページに掲載されたようであるが、準備状況を整えたいうで日ラが実施を公表するなどの手順を踏んで欲しいとの意見があった。

5) 学連からの銃を所持しないOBの一般会員登録について

袴田(副会長)学連会長より、今回認定コーチ制度の見直しに伴い、各大学の監督コーチら指導者にも認定コーチ資格を取得させるために、学連に2年以上在籍履歴があり、競技用の銃の所持が無い者が、日ラ認定コーチ資格を取得し資格継続する場合に限定して、学生連盟を通じた日ラの一般会員登録を認められるように、学連の規約にも明記したので、日ラ理事会としても了解いただきたい。との報告があり、反対意見はなく理事会として承認した。

6) 2019年度高校選抜選考での五輪予選会成績代用について

田村副会長より2019年11月に東京2020大会の1次選考会を実施したが、その同じ日程で高校選抜の関東ブロック予選が組まれており、エリートアカデミーの選手が両方出場を希望していたので、日程変更を打診したが、できないとのことであり、五輪予選に出場した選手は予選での成績値を本人の予選の点と解釈して予選通過判断をする旨連絡を関東の高校部会から受け、五輪予選での成績をお送りし、関東ブロックからは予選は通過したとのお返事をいただいていた。

その後今年に入り、高校選抜への出場は認められないとの話が来た。高校部会側から説明をいただきたいとの発言があった。

麻植理事より高校部会としては常任理事会で議論をした結果、これまでも選手にどちらかの出場を選択させることでやってきており、今回も予選出場と五輪予選成績で判断することはすべきでないとの結論になった、という経緯だが、日ラ主催大会なので日ラの判断にはしたがいます、との発言があった。松丸議長が、それでは五輪予選会での本人の成績が予選通過相当であることを確認のうえ、出場させると日ラとして決定することにしたい、と発言し、反対意見はなく、承認した。

16時45分に松丸議長が閉会を宣言した。

2020年2月28日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



代表理事

袴田登喜造

袴田登喜造



監事

石崎和男

石崎和男



監事

香西俊輔

香西俊輔



[参考資料]

2019年度第5回理事会資料訂正正誤表

2020年2月22日（土）13:00～16:45 に開催された公益社団法人日本ライフル射撃協会 2019年度第5回理事会において資料の訂正があり、訂正内容も含め議決、報告された資料正誤内容は下記のとおり

<審議事項>

3. 倫理規程、通報相談窓口処理規程、同窓口利用要領の改訂について

資料4-1の15ページの倫理規程の運用に関する細則の第1、②の後段の案文に記載の「理事会に報告し」の箇所は削除するとの説明があった。

<報告事項>

2) 推薦委員会1月報告

大野推薦委員長より資料16のとおり報告があった。その中でP49の1月分AP所持推薦で不備保留1は0とし、不承認を1とする訂正があった。

2. その他

1) 射撃スポーツのおかれている現状と対策について

成山理事が説明した別添資料2のP2、一般会員数（人）の表中の数字は下表のとおり網掛部分について訂正があった。

	一般会員数 (人)	対2008増減	平均年齢(歳)	増加平均年 齢
2008	3414		43.2	0
2013	3061	-353	46.0	2.7
2014	3029	-385	45.9	2.7
2015	3010	-404	46.3	3.1
2016	2998	-416	46.9	3.7
2017	3041	-373	47.7	4.5
2018	2980	-434	48.6	5.3
2019	2930	-484	50.4	7.1

以上